



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と ひ と 学 生 ぐ ツ ム

第52号

2017年8月24日

編集 水野 慈

(愛知教育大学2年)

夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.31

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

わくわく算数教室、後半2日目！！

今日は、今年の「わく算」で最も多くの児童・学生が参加した日でした。とても広いなかよし音楽広場も、全員が座るので精いっぱいでした。

中村先生の始まりの合図と同時に、たくさんの子どもたちが問題集に向かって走っていきました。子どもたちの勉強がしたいという気持ちからくる行動なんです。コピー機の周りには、いつも子どもと学生で行列ができていました。どんな問題をやるか、問題集を一緒に見ながら話している姿がたくさん見られました。中には、自作のプリントを持参してきたり、子どもと勉強する内容を一緒に考えたりしているSPさんもありました。

昨日に引き続き、3年生のAくんが参加していました。今日はなんだかやる気が出ないとのこと。カーテンに隠れたり、窓にぶら下がったり…。なかなか勉強が始まりません。

そこで、「お兄ちゃんすごい頑張ってるよ」と伝えてみました。すると、すぐ椅子に座ったと思うと、SP

さんと問題を選びに行きました。お兄ちゃんパワー、効果抜群！！6年生のお兄ちゃんは、プリントを頑張っていました。分からなくても、自分で正解を出そうと一生懸命考えていました。最後は、自分だけの力で答えを出すことができました。素晴らしい！こんなカッコいい姿を見せてくれるからこそ、Aくんも頑張ろうと思えるんです。

もっともっと書きたいことがありました。1時間半という短い時間の中で、子どもたちの頑張っている姿やSPさんと楽しく話している姿がいろんなところで見

られました。このわくわく算数に来て、勉強をすることを本当に楽しんでいることがわかりました。あと2日、頑張りましょう！！

